

全国中国語教育協議会

ニューズレター

第13号

1999年12月14日発行

2000年3月27日に第2回大会開催を決定 研究ファイル、セミナー報告の刊行を開始

本協議会の会則で隔年開催と定められている全国大会(研究報告会と会員総会)は、すでに3月の理事会における検討とアンケート調査を参考に、会員各位の意見を汲みかたちで、年度末にはなるが、来る2000年3月27日(月)に開催することとなった。詳細な案内は1月下旬送付の予定であるが、概略を下記にかかげるので、奮ってご参集いただきたい。

【開催要項】

日時と場所 2000年3月27日(月) 日本大学文理学部(所在地:東京都世田谷区)

日程 9:30 開会式 9:40~12:00 研究報告(1,2) 12:00~13:20 昼食休憩・理事会

13:20~14:30 研究報告(3) 14:30~15:30 会員総会 15:30~17:00 懇親会

研究報告(1~3)は委嘱講師3氏による報告及び質疑とし、今回は研究発表の公募はしない。講師には奥水優(日本大学)、孫玄齡(東京外国語大学)、渡邊晴夫(國學院大学)の3氏を予定している。それぞれ、これまでのセミナーの成果をふまえ、中国語教育に関する具体的な問題提起や、建設的な提案、資料の配布等をお願いすることになっている。

なお、若干の大会参加費を徴収する予定。宿舎等の必要な方は各自でご用意ください。

懸案となっていた研究ファイルとセミナー報告がようやく刊行の運びとなった。はじめ、「研究論集」公刊に向けて会員から原稿を公募していたが、本会の現状では、審査から印刷まで、なお多くの問題があって解決に時間が必要なため、会報前号でもお知らせした通り、当面は会報(ニューズレター)に添付する形式の「研究ファイル」を不定期に発行するとともに、月例セミナーと夏季セミナーの講師に依頼して、全会員向けの「セミナー報告」を順次執筆していただくことにした。早くから原稿を送付された会員には、この間の遅延によりご迷惑をおかけした点、事務局からお詫びを申し上げる。上記の大会案内送付の際、研究ファイルNo.1(藤井玲子会員)、同No.2(岩城英規会員)、同No.3(岩本真理会員)、セミナー報告No.1(山田眞一会員:基礎段階における語彙ガイドライン策定の試み)の4点をお届けする予定である。

事務局のご案内

156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国文学研究室内

全国中国語教育協議会

郵便振替口座 00120-0-364168

99年度月例セミナー・夏季セミナー報告

中国語教員の研修会開催は、本協議会の、目下のところは最重点の活動となっている。99年度は月例セミナー、夏季セミナーともようやく軌道に乗り、とくに参加者から事前に質問表兼意見表を提出していただき、講師の報告に反映させることとし、一方通行にならない方策を講じ、それなりの成果があったものと思う。今後はさらにこの方式を効果的に活用できるように努力したい。次の課題として、参加者の増加をはかること、研修内容の体系化と充実をはかること等がある。具体的には、東京以外での開催、多方面からの講師委嘱、研修テーマの公募等を考慮している。会場については、月例セミナーをひきつづき国際文化フォーラムのご好意により交通至便の会議室を借用し、夏季セミナーは休暇中の大学施設を使用することになる。以下に99年度セミナーの概要をまとめる。

月 日	研修テーマと講師（敬称略）	参加者数
4月10日（土）	入門段階の発音教育 東京外国語大学 孫玄齡	18
5月 8日（土）	初級段階の文法教育 東京外国語大学 依藤醇	13
6月12日（土）	中国語教科書の作り方 日本大学 奥水優	37
7月10日（土）	中国語学力判定法〔練習問題編〕 明治大学 武信彰	22
	同 上 〔試験問題編〕 日本大学 奥水優	
7月30日（金） 夏季セミナー	私の中国語教授法 東京外国語大学 平井和之	17
	広島修道大学 郭春貴	
	日本大学 奥水優	
10月 9日（土）	朗読のポイント（読み方実習）東京外国語大学 孫玄齡	7
11月13日（土）	ガイドラインの設定に向けて 日本大学 奥水優	24
12月11日（土）	中級段階の中国語教育 東京外国語大学 小林二男	17

※例年、秋は各所で諸行事があるためか、参加者が減少するが、今年は10月に「朗読実習」を企画し、テープ添削を含めた研修を実施したところ、参加者少数で残念に感じた。

[99年度セミナー会計報告]

収入	参加費(事務費とも) 393,000(円)*	参加費@2,000、申込1回毎に事務費+500
支出	講師謝金 280,000	*180分超は30,000、未滿は20,000
	講師旅費 40,000	*東京～広島1名
	事務局諸雑費 55,458	*打合せ諸費、夏季セミナー飲食物含む
	バイト謝金 5,000	*夏季セミナー手伝い
	合計 380,458	差し引き残金 12,452(円) *繰り越し

99夏季セミナーの記録

島田亜実（東京外国語大学）

私の中国語教授法〔平井和之〕 要旨

発音については、参加者を学生に見立てて実際に授業をする形態をとって話をすすめる。例えば有気音の音に移る前の氣息の意識的な取り入れ方や、-n/-ngの鼻孔に流れる気流の意識のさせ方等、安易に日本語との対比をさせず、豊富な専門知識を背景にした授業法は、教える側としてみれば随所に新しい発見があり刺激的で、受ける側としてみると平易でわかりやすい。文法については自著の文法中心の教科書を基に工夫点について報告。

私の中国語教授法〔奥水優〕 要旨

自著の教科書を使っての報告。どのような意図で書かれているのかを明らかにしながら、実際に授業する場合の時間配分、小テスト、朗読の方法から宿題、学生に対するフォローまでこまかく披露する。この本

※毎回のセミナーにおける研修内容は、今後できるだけ「セミナー報告」として刊行したり、会報に要旨を掲載することにいたします※

は発音・文法・読解の3編に分かれており、それぞれに対応した授業方法をとる。特に発音編でのひたすら読ませる工夫をする点、~~などは~~初級の教師にとって、うまくできずについ文法を語ってしまいがちなところ等たいへん参考になった。

私の中国語教授法〔郭本秀〕 要旨

L1教室を有効に利用した会話中心の授業法を紹介した。学生の発音を一緒に録音することで、学生自身の学習意欲を高め、負担にならない程度でも毎回暗唱、練習問題、予復習を宿題にし、発表の場を設けることで文型の定着を図る。講師の自著の教科書は簡潔で、書き込み用の余白を多く取っていて、学生に威圧感を抱かせない。教師自身がまず自分の授業を尊重し楽しむことが大切という提言からは、活気ある授業風景が浮かんでくる。

全国中国語教育協議会 会報・研究ファイル 原稿募集

会員各位の積極的な投稿をお願いいたします。執筆要領は下記の通りです。

- ☆ **会報掲載原稿** ①教室での工夫・授業のアイデア ②教学実践記録(教案等も含む)
③国内外の中国語教育・研究関係学会・研究会・シンポジウム紹介 ④私の読んだ本
(外国語教育の分野で、紹介・書評とも) ⑤その他、会報にふさわしい内容の原稿。
1編1千字以内。ワープロ使用を原則とし、手書きの場合は400字詰め原稿用紙使用。
締切りは特に設けない。採否は事務局一任とし、随時掲載。原稿は返却しない。
- ☆ **研究ファイル掲載原稿** 「研究論集」公刊には、原稿審査から印刷まで種々の問題が未解決のため、当面は会報(ニューズレター)に添付する形式の「研究ファイル」を不定期に発行の予定です。投稿希望の方は、まずその旨を事務局にお申し出ください。

会費納入のお願い

本会の経費は年度会費2000円と有志の寄付によっています。今年度分はすでに多数の方からお振り込みいただいておりますが、11月末現在99年度分の納入率はまだ約70%です。未納の方には、今回も振り込み用紙を同封してご請求申し上げますので、ぜひ早めに納入をお願いいたします。2年度分以上未納の方にはその旨を振り込み用紙にご案内してあります。入れ違いに納入済みの場合はお許してください。なお有志各位の寄付金も大歓迎です。

【資料】下記の案内が届いています。申し込み用紙ご入用の方は事務局にご一報ください。

第二届中国电化教学国际研讨会通知（第一号）

THE 2ND INTERNATIONAL CONFERENCE ON NEW TECHNOLOGIES IN TEACHING AND LEARNING CHINESE

由北京大学、北京语言文化大学、北京新亚研修学院、美国加州中国语言教学研究中心、广西师范大学联合主办、广西师范大学承办、中国对外汉语教学学会和中国中文信息处理学会支持的第二届中文电化教学国际研讨会，拟于2000年12月23日至12月25日在中国风景旅游和历史文化名城桂林市召开。（第一届会议是于1995年4月28日至4月30日在美国旧金山召开的）

本届国际研讨会的议题是：

①音像技术在中文教学中的研究与应用；②电脑技术在中文教学中的研究与应用；③多媒体和光盘技术在中文教学中的研究与应用；④中小学电化教学；⑤汉语教学语料库；⑥现代远程教育；⑦汉语水平计算自测研究；⑧其他。

欢迎拨冗光临会议，并请准备论文。论文一式三份，统一用16K纸、五号字打印，篇幅不超过5页。请于2000年5月31日前将论文稿邮寄以下任何一个会议论文评审点。

- 1、北京语言文化大学语言信息处理研究所 张普教授
地址：北京市海淀区学院路15号 邮政编码：100083
- 2、潘兆明教授，Chinese Language Education & Research Center
510 Broadway, Suite 301, Millbrae, CA 94030, U.S.A
- 3、Prof. Tianwei Xie, Dept. of Chinese & Japanese, University of California,
Davis, CA 95616

与会回执请于2000年2月29日前寄会议秘书处。收到回执后会议秘书处将发第二号通知。

会议秘书处联系地址：中国广西桂林市王城1号 广西师范大学国际交流处 邮政编码：541001

联系人：马峙 覃坚庭 电话：0773-2816350 传真：0773-2815850

E-mail: gxnu@public.glptt.gx.cn

第二届中国电化教学国际研讨会秘书处
(广西师范大学代章)

◆◆活動ニュース◆◆ 2回目の全国大会を明春3月開催と決めたが、事務局は会長と非常勤の島田幹事だけ。会報は原稿から入力・印刷まで会長の手で、発送は会長と島田さんの手で、そ

して一切の雑務は島田さんという次第です。諸々の不行き届きはお許してください。専用のワープロも酷使に耐え切れず壊れてしまったため、今号は紙面が少し変わりました。